

2025 年度 共通教育センター FD 活動方針・活動計画

共通教育センターでは、全学の FD 方針に基づき、以下の取り組みを実施する。

1. ICT スキル科目群に関する FD 活動

1.1 2024 年度 FD 活動の継続（ICT リテラシーの適切な運営）

カリキュラム改革によって今年度から開設された科目「ICT リテラシー」について、BYOD 必携化への対応とあわせ、大学初年次での PC 活用が十分にできるスキルが身につくような授業を実施する。各教員で授業内容や手法を計画・実施し、じっさいにスキルが身についていることを学生アンケート等にて確認する。

1.2 初年次科目の見直し（データサイエンス、コンピューター基礎理論）

2025 年度入学生より高等学校新課程の履修者となった。このため、ICT スキル科目の内容について見直しを行う。初年次科目のうち ICT リテラシーを除いた 2 科目（データサイエンス、コンピューター基礎理論）について、これまでの総括を行った上で実施内容の見直しを行い、2026 年度シラバスに反映させる。

2. 言語スキル科目群に関する FD 活動

昨年に引き続き、初年次学生をターゲットとしている言語スキルを 4 年間の大学生活で育てるように拡大する。共通教育センター教員と各学部・センター教員との間の意識共有の強化とともに、一部の学部では文章作成に関する授業を共同で実施する。

また、言語技術 I・II での指導実績をもとに、今年度から「体験の言語化コンテスト」を実施するとともに、体験を言語化することに関する指導用資料も作成・提供する。

3. 105 分授業への対応

今年度より変更された授業の 105 分化について振り返るとともに、どのような授業デザインが効果的であったかを共有する。また、前年度手をつけることができなかった授業デザインシートについては、常勤・非常勤で担当している科目について作成を試みる。

4. 学習成果の可視化への対応

4.1 重要科目における振り返り

科目の履修を通じて学生自身の成長を確認できるようにするために、スキル系科目を中心に学びの振り返りを促す手法を活用する。具体的にはリフレクションシートの作成に関するワークショップなどを通じて振り返りの指導法を学び、各授業での活用を図る。

4.2 学生との対話を通じた授業の改善

授業を行う上で、必ずしも教員の意図が学生に伝わらず、学生の授業への関心や活動への参加度が低下することがある。そこで、教員・学生相互のインタビューを通じて授業に関する考えの相違を明らかにすることで、シラバス・授業資料・説明などの内容を改善し、学生がより積極的に授業に関われるようにする。

以上